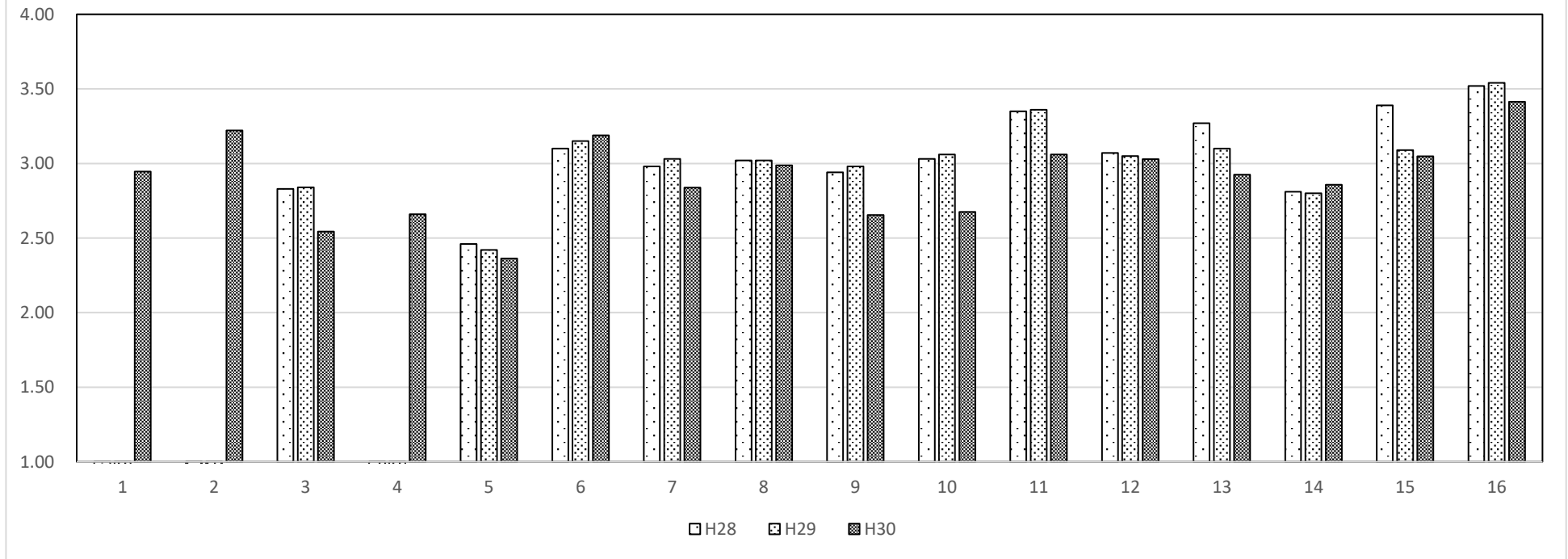


H30学校評価【保護者】3年間比較表



①保護者の回答率は72.7%で、前年比6.6ポイント減少した。(H28 60.2%,H29 79.3%)

➡ アンケート協力の依頼を徹底する(学校メールでの呼びかけ)。また、webを活用したアンケートも検討する。

②質問内容をより具体化したことによる効果。

➡ ・「わからない」回答が減少した。

→項目3(授業:180→75)(保護者が子どもに聞いて回答しているのでは、生徒の評価と一致している)

・「わからない」項目が明確化し、対応を検討しやすくなった。

→項目13(いじめ防止の取組が知られていないことがわかった)

・保護者宛文書を発出した場合、学校メールで文書発出の「お知らせ」を発信する。

③肯定的評価が低い項目について

- ➡ ・項目3（授業）→「授業アンケート」の結果を教科で検討し、次年度の授業改善に取り組む。
- ・項目5（自主学习）→今年度、図書室に漢検・英検コーナーを設置したが、評価は変わらなかった。
- ・項目10（部活動）→本校の生徒はおとなしい子が多い中で、部活動はよく活動している。  
男子が少ないためとの指摘もあるが、落ち着いた環境を求めて入学する生徒が多い。  
部活動のホームページの更新を積極的に行い、情報発信に努めることで改善したい。
- ・項目9（進路情報）→今年度急に低くなった。しかし、生徒の評価は88.9%で高い。  
配布物が保護者に届いていないことが考えられるため、学校メールでお知らせする必要がある。

④全般

- ・項目16（本校入学）については、回答欄に「花丸」を付けた保護者が多かった。
- ・学校評価で得た課題について（自由記述を含む）、今後どのように改善していくかを校内だけでなく、開かれた学校づくり委員会において、深く議論していく必要がある。